医療生協
2019年**11月号**
(No.458)
宮崎医療生活協同組合
〒880-0824
宮崎市大島町天神前1175-3
発　行　機関紙編集委員会
責任者　仁田脇 弘文

おげんきですか

宮崎生協病院 ☎(0985)24-6877 FAX 29-4839
http://m-seikyouhp.com/
和知川原生協クリニック ☎(0985)23-0050 FAX 23-0303
このはな生協クリニック ☎(0985)58-1222 FAX 58-3110
おおつか生協クリニック ☎(0985)52-6715 FAX 51-9004
生協クリニックのべおか ☎(0982)26-7100 FAX 26-7101
訪問看護ステーションれいんぼう ☎(0985)23-7728 FAX 24-0515
訪問看護ステーションそれいゆ ☎(0982)31-1442 FAX 31-1452
居宅介護支援事業所れいんぼう ☎(0985)24-8538 FAX 24-0515
居宅介護支援事業所宮崎生協病院 ☎(0985)24-6545 FAX 29-4839
居宅介護支援事業所それいゆ ☎(0982)31-1453 FAX 31-1452
生協ホームヘルプサービスそれいゆ ☎(0982)26-2536 FAX 31-1452
宮崎医療生活協同組合 ☎(0985)23-7168 FAX 26-1944
http://www1.ocn.ne.jp/~mcoop/

宮崎生協病院附属棟12月2日診療開始

附属棟開設に寄せて

院長　遠藤 豊

宮崎生協病院は2002年4月に和知川原から現在のこの大島町に移転してまいりました。現在124床の病院として「地域の願いに応え、誰もが安心してかかれる」という理念の下に地域医療はもとより、組合員の皆さんの健康と医療に貢献し、医師やスタッフを育てる研修病院として、また憲法の示す平和と社会保障を守る病院として活動しております。

患者さん、職員の増加とともに施設が手狭になり、組合員さん、地域からの要請もあり、今年1月から北側駐車場に附属棟を建設着工し、完成間近です。1階が小児科、2階が健診センター、3階が人工透析室を予定しています。続いて現在の病院内部を改修して、内視鏡検査、心臓リハビリの拡充を図り、新たに化学療法室、採血室を設置します。

それにより組合員の皆さん、地域の皆さんがより利用しやすく、かかりやすい外来や健診、検査・治療がスムーズに流れるように二層の努力を続けて参ります。もうしばらく工事の関係で駐車場をはじめ、ご迷惑をおかけしますが、竣工を期待していただければと存じます。

院長　遠藤豊

正面玄関からの外観

大島通線からの外観

これからの小児科医療活動

当院は、宮崎生協病院の前身である宮崎共立病院時代の1987年4月に小児科を開設しました。大島町へ移転した3年後の2005年には小児科医師2名体制が実現し、予防接種や乳児健診の拡大を行いました。その後、月～金の夜間診療を開始し、仕事をしながら子育てに奮闘されている地域のお父さん・お母さんに寄り添った医療を展開しています。現在では、小児科医師4名体制となり、午前外来の診察室2診体制や午前・午後・夜間の外来診療、予防接種・乳児健診の増枠と医療活動が拡大しています。

今回の附属棟新設では、小児科フロアがこれまでの3倍ほどの大きさへ拡大し、病気でかかるお子さんと、乳児健診・予防接種で来られるお子さんの診察フロアが分かれます。また、受付や会計なども小児科専用となり、これまで以上にかかりやすい小児科になると思います。

今後は、当院小児科を利用してくださっている皆さんや組合員さん、職員とともに、病気でなくても利用できる小児科、地域に開かれた小児科を目指し、様々なイベントを行っていきたいと思っています。

小児科医　山元広己

内装工事(10月11日撮影)

完成後のイメージ

これからの健康診断活動

健康診断科は新棟の2階に移転します。まず、スペースがこれまでより格段に広くなりますので、保険診療の患者さんと接することなく健康診断を受けていただくことができます。更衣室も設置され、検査着に着替えていただくことができるようになります。また、ワンフロアーになることで、待ち時間を減らすとともに、BGMや雑誌などで待ち時間をできるだけ快適に過ごしていただくよう改善します。さらに、心電図、胸部X線は健診科の中で実施することができるようになり、基本的な健康診断は他の場所に移動することなく検査を実施することができるようになります。

今後の課題としては、まず年々需要が高まる消化器内視鏡検査の拡大が緊急の課題です。幸い今回の改修によって内視鏡室が2部屋となりますので、徐々に要望にお応えできるようになると思います。また、腹部超音波や乳房超音波検査を拡大し、将来的には健診スペースでの実施を展望したいと思います。

皆さんのご要望にお応えできるよう少しずつ改善してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

健康診断科主任　小牟田貫

内装工事(10月11日撮影)

完成後のイメージ

新たに始まる透析医療

皆様こんにちは。私は12月開設の透析室を担当する内科医の眞川昌大と申します。

透析室開設は患者さんの要望から始まりました。「透析を契機に転院をよぎなくされる患者さんとの涙の別れが何度もあった」と聞いております。そのため、透析室開設は長年の悲願でした。信頼される透析施設を作るため、私達はできる限りの準備をして参りました。

最新の透析医療を学ぶために、私が鹿児島生協病院で1年間研修し、他の数人の内科医師も鹿児島生協病院で短期研修を行いました。臨床工学技士や看護師も研修に行き、さらに透析経験豊富な臨床工学技士2名、看護師1名も新たに仲間に加わりました。また、長野県の病院から透析経験豊富な臨床工学技士が2ケ月ほど支援に来てくれます。多くのスタッフできめ細かなケアをしていきます。機器も充実させ、透析装置は今年発売した最新機種を導入し、あらゆる透析に対応できます。

透析施設は患者さんが人生の多くの時間を過ごす場所、第二の家です。その点を理解して、過ごしやすい環境を準備しております。

透析患者さんへの医療・ケアは一つの医療機関だけでは完結しません。他の医療機関との良好な連携が必要です。10月9日に地域連携懇談会を開き、大学・中核病院・クリニックの多くの医師・スタッフに参加して頂き、連携を深めました。

私たちは透析室開設のために、できる限りの準備をしてきました。そして、これからも、職員一同力を合わせ、安心・安全な医療を実現していきます。

内科医　眞川昌大

内装工事(10月11日撮影)

完成後のイメージ

体温計

安倍政権は、沖縄県民の民意を踏みにじる辺野古埋め立ての土砂投入等、米国と財界へ国民を奉仕させたり、弱者切り捨てや生活破壊の年金カット、消費税率10%と健康保険料金をアップしてきました▼昨今の豪雨被害や今年秋の台風15号の千葉県での強風被害や台風19号の豪雨被害は政府もマスコミも「想定外」の災害として宣伝報道していますが、巨大化する台風にエネルギーを供給しているのは、地球温暖化による海水温度の上昇です▼石炭火力発電や石油製品等化石燃料の炭素の排出が原因であることはあきらかです。環境にやさしい太陽光発電や小型の風力発電など への転換が求められている時、石炭火力発電の新設や海外へ輸出する安倍政権は放置できません。地球温暖化防止でいのち輝く地球を未来に生きる人々に譲り渡すのは今生きている人間の責務であると思います▼国民主権の平和と民主主義、健康で文化的な政治を取り戻すために医療生協の運動を発展させましょう。

（K・Y）

クイズの答えはEメールでも受け付けております→　「おげんきですか」へのご意見・ご感想をおよせください。　Eメール:mcoop1030@ray.ocn.ne.jp

生協クイズ (No.186)

（出題　編集委員会）

7月20日に宮崎地区で開催した子どもの保健学校〝めだかの学校〟には26名の児童と6名の保護者が参加しました。みそ汁塩分チェック試飲や清涼飲料水の砂糖量クイズ、ミニズでのたばこの害の実験などを行いました。

砂糖が多く含まれている清涼飲料水を飲みすぎると〝ペットボトル症候群〟に陥りやすくなると言われています。砂糖の摂取基準値は「体重1kgあたり1日1g」が理想です。左記の清涼飲料水に含まれる砂糖の量は何gでしょうか。例えば三ツ矢サイダー(500ml)は55gです。

（参考、厚生労働省eヘルスネット）

①アクエリアス（500ml）
②コカコーラ（500ml）
③麦茶（600ml）
④紅茶花伝（410ml）

ア　0g　イ　24g　ウ　35g
エ　57g

【応募方法】
郵便はがきに、答え、住所、氏名、電話番号をご記入のうえ、下記の宛先までお送りください。また、Eメールでも受け付けております。「おげんきですか」を読んでのご意見・ご感想などもお書きください。正解者の中から抽選で5名の方に図書カードを差し上げます。〆切は11月30日で、当選者は1月号の紙面で発表します。

【送り先】
〒880-0824
宮崎市大島町天神前一一七五-三
宮崎医療生活協同組合
「生協クイズ」係宛
※名前の書き忘れがないようにご注意ください。

【10月号の答え】
①オ　②エ　③ウ
④イ　⑤ア

【9月号当選者】（応募数42通）（正解　42通）
黒木　健一さん（延岡市）
佐藤　百合子さん（日向市）
橋本　高行さん（宮崎市）
古川　寿美さん（宮崎市）
猿渡　ノリ子さん（三股町）

P 駐車場のご案内

生協病院北側（正面玄関側）駐車場は、附属棟建設工事のためご利用になれません。
患者・組合員様は西側駐車場をご利用頂きますようご協力をお願い申し上げます。

11月の診療案内

循環器内科（遠藤・高田・中島）、消化器内科（古谷）、呼吸器内科（高橋聡・永友）、糖尿病内科（植野）、内科・リハビリ（浜田・高橋麻里子）、内科（柳田）
外科・肛門外科（山岡・葉山・末岡）、小児科（山元・上野・愛甲・久保）、後期研修医（堀・加藤）、初期研修医（當瀬・日高・林・井上・有田）

宮崎生協病院

●土曜日夜間の内科・小児科外来は休診です。
宮崎市大島町天神前1171
☎0985(24)6877

◎病院及び医師の都合上、右表のとおりにならない場合があります。あらかじめご了承ください。

	内科 午前					内科 午後			内科 夜間	外科 午前	小児科 午前			小児科 午後			小児科 夜間
	受付 8:00～11:00 診療 8:30～12:00					受付 13:30～16:00 診療 14:00～17:00			受付 17:00～19:30 診療 17:30～20:00	受付 8:00～11:45 診療 8:30～12:30	受付 8:00～11:45 診療 8:30～12:30		特診 アレルギー(要予約)	外来 14:00～17:00	乳見健診 13:30～16:30(要予約)	予防接種 13:45～16:15(要予約)	特診 脳波 神経(要予約)	受付 16:30～19:00 診療 17:00～19:30
	一般 1診	一般 2診	予約制 3診	予約制 4診	予約制 5診	一般 1診	予約制 2診	予約制 3診										
月	交替制	交替制	遠藤	古谷		交替制	13:30～17:00 高橋聡	14:00～15:00 高橋麻里子	交替制	山岡	1診:山元 2診:愛甲			上野	久保	山元	愛甲	久保
火	遠藤	交替制	高田	植野		交替制	13:30～17:00 永友	15:00～17:00 加藤	交替制	山岡	1診:久保 2診:山元			愛甲又は山元	上野	久保		上野
水	交替制	交替制	遠藤	8:30～10:00 第1・3・5(高橋聡) 第2・4(永友)		第1・3・5週は休診 第2・4週14:00～15:00 交替制 15:00～17:00 小牧			予約のみ17:00～18:00 遠藤 予約のみ18:00～19:00 高田 夜間一般17:30～20:00 交替制	葉山	1診:愛甲 2診:久保	休診						愛甲
木	遠藤	交替制	高田	古谷	8:30～10:00 堀 11:00～12:00 高橋麻里子	14:00～15:00 交替制 15:00～17:00 小澤		ペースメーカー外来 遠藤	交替制	休診	1診:上野 2診:愛甲	山元	交替制	交替制	交替制		交替制	
金	遠藤	交替制	中島徹	第1・3 柳田		交替制	13:30～17:00 高橋聡		交替制	葉山	1診:山元 2診:久保			久保	愛甲/山元	上野	愛甲	山元
土	交替制	交替制	1週:高田 2週:高橋聡 3週:植野 4週:永友			休診	休診	休診	休診	第1・3・5週 山岡又は葉山 第2・4週 末岡	交替制			受付 13:30～16:30 診療 14:00～17:00 交替制				

和知川原生協クリニック

宮崎市和知川原2丁目25-1　☎0985(23)0050

診療時間	午前 8:30～12:30 (受付12:00)まで	午後	夜間 17:00～19:00 (受付18:45)まで
月	植野	訪問診療	植野
火	生協病院からの支援		
水	植野		植野
木	植野		
金	植野		
土	植野 第3土曜休診		

おおつか生協クリニック

宮崎市大塚町大迫南平4401　☎0985(52)6715

診療時間	午前 8:30～12:30 (受付11:30)まで	午後 16:00～18:00 (受付17:30)まで
月	三宅	三宅
火	三宅	休診(訪問診療)
水	三宅	三宅 17:00～19:00 (受付18:30)まで
木	三宅	休診(訪問診療)
金	三宅	三宅
土	三宅 第1土曜休診	

このはな生協クリニック

宮崎市大字熊野1613　☎0985(58)1222

診療時間	午前 8:45～12:30 (受付12:00)まで	午後 15:00～18:00まで	
月	高田	高田	通所介護 デイサービス 月曜日～土曜日 9:00～15:30
火	中村	中村	
水	高田	休診(訪問診療)	
木	中村	中村	
金	高田	高田	
土	高田 (第1土曜は中村)		

生協クリニックのべおか

延岡市浜砂1丁目5-17　☎0982(26)7100

診療時間	午前 9:00～12:30 (受付12:00)まで	午後 15:00～17:30まで	
月	末岡	末岡	通所介護 デイサービス 月曜日～土曜日 9:30～16:00
火	末岡	末岡	
水	末岡	末岡	
木	休診	生協病院からの支援 14:00～17:00	
金	末岡	末岡	
土	休診		

●診療科は内科。●火曜、水曜、金曜の13:30～15:00までは訪問診療。

在宅総合ステーション れいんぼう

宮崎市和知川原2丁目25-1（れいんぼう会館内）
・居宅介護支援事業所
☎0985(24)8538
・訪問看護ステーション
☎0985(23)7728

在宅総合ステーション それいゆ

延岡市浜砂1丁目5番6号
・居宅介護支援事業所
☎0982(31)1453
・訪問看護ステーション
☎0982(31)1442
・ホームヘルプサービス
☎0982(26)2536

◎介護保険の申請や相談については上記の居宅介護支援事業所にお問い合わせください。

小規模多機能ホーム 高齢者共同住宅 **みんなの家**
宮崎市大島町国草142-2
TEL 0985-75-0700

小規模多機能ホーム 高齢者共同住宅 **ぎおんの家**
宮崎市祇園3丁目195番地
TEL 0985-61-7720

小規模多機能ホーム **おおつかの家**
宮崎市大塚町西ノ後3435番地1
TEL 0985-55-0025

れいんぼう会館
宮崎市和知川原2丁目25-1
グループホーム にじの樹
TEL 0985-35-6022
デイサービス和知川原
TEL 0985-32-3414

グループホーム **おおつかの家**
宮崎市大塚町西ノ後3435番地1
TEL 0985-52-2225

入居者を募集しています。入居希望の方は、各介護施設または介護事業部 (0985) 23-7168 (小牟田佐知子) までご連絡ください。

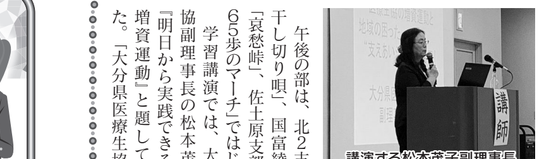
二つの地区で組合員の集いを開催

宮崎地区

大分県医療生協から学ぶものは

10月9日(水)、109名の組合員さんが宮崎市民プラザに集まりました。開会あいさつで宮田徳一理事が「秋の医療生協強化月間の方針を理解し、取り組みの意志統一を確認する場です。一人ひとりができることは何なのか、一歩でも足を踏み出しましょう」と、呼びかけました。その後、スライドでの宮崎医療生協の40年の歴史、原水爆禁止世界大会in長崎に参加された藤崎路子さんからの報告、九州沖縄ブロック組合員交流研修会in鹿児島に参加された4名の組合員さんから分科会の報告がありました。

医療生協強化月間の方針を村尻勝信理事が「情勢の特徴を押さえないと月間の取り組みはできません。医療生協を知らせ、多くの新しい組合員を迎えることで医療生協の基盤は強化します。一人ひとりが多くの人に声をかけ、展望を語ることで加入や増資、担い手づくりにつながります。


講演する松本茂子副理事長

今年の月間は、今までになく重要な意義があります。みんなで力を合わせましょう」と、訴えました。

午後の部は、北2支部の民謡「刈干し切り唄」、国富綾支部の踊り「哀愁峠」、佐土原支部のダンス「365歩のマーチ」ではじまりました。

学習講演では、大分県医療生協副理事長の松本茂子氏による『明日から実践できる医療生協の増資運動』と題して行われました。「大分県医療生協は、生協病院の老朽化、耐震性の問題で建て替えが必要になりました。建設には多額な費用が必要です。そこで『5億円増資で新病院を建設しよう』の合言葉で増資運動委員会を立ち上げました。〝まずはどうしたら増資が達成できるのか〟を話し合い、2007年から運動がはじまりました。班会では増資のメリットや入院費用などへ充てる病気貯金、自分の葬儀代の積立、へそくり貯金としての増資を訴えました。毎月9日・25日は、組合員がボランティアで病院外来での〝お茶出し無料サービス〟を行い、『あなたの増資があなたの新しい病院のために使われます』と委員長自ら呼びかけ、さらには機関紙にも増資運動の取り組みを毎月掲載し〝見える化運動〟にも取り組みました。」

佐土原支部の出し物

さらに「2011年に見事5億円増資を達成、2016年には新病院が完成しました。その後も毎年1千万円の増資が定着し、医療生協への期待に繋がっています。仲間増やしなしでは出資金は増えません。増資する一方では、たまには自分の出資金を使って組合員みんなで日帰り旅行をするなど、増資する楽しみをつくりましょう」と、話しを結びました。

最後に仁田脇弘文専務理事が「宮崎医療生協の運動は、地域の組合員さんと職員の力で発展してきました。今回の附属棟の建設や院内リニューアルも歴史のひとつです。楽しく私たちの夢を語っていきましょう」と閉会あいさつを行いました。（組織部）

グループ討論

県北地区

3支部の組合員が参加

県北3支部は9月28日(土)、県北地区組合員の集いを開催し、会場の社会教育センターに50名が参加。

開会の挨拶で吉村憲行理事が、先ごろ外観が見えるようになった建設中の宮崎病院附属棟の様子を説明し、月間に向けて建設の増資活動の協力を呼びかけました。

今年のつどいは、宮崎医療生協の43年間の歴史と活動を映像で振り返り、仁田脇弘文専務理事による講話では、現在の社会の状況と医療生協が目指す「医療の民主化」を発展させ、宮崎県民の医療と介護に貢献できる活動の充実、組合員としての医療生協活動などを話されました。私たち組合員が確信を持って月間に取り組めるよう具体的な課題の提起もありました。最後に医療体制の遅れている延岡でも、無料低額診療事業の実施に向けて動き始めている明るい報告もありました。

長友征子理事による「まちづくり活動責任者会議」の報告では〝る・る・ぶ〟活動の実践でつながりをつくり、地域ぐるみの健康づくりを進めることの大切さを話されました。

水永玲子支部長のブレイクタイム、テゲテゲ音頭を楽しんだ後、県北支部、日向支部の支部長が、支部活動の報告と強化月間の4課題達成を呼びかけました。（県北支部長　甲斐郁子）

支部活動紹介

西部支部

西部支部は1992年、「おおつか生協クリニック」開設と同時に発足しました。クリニック周辺を1戸ずつ訪問して組合員さんをふやし、基礎を築いてきました。初代の支部長は塚本崇重さん。発足から27年になる。

この間、支部分割を小松支部(2003年)、大塚江南支部(2007年)と行いました。2013年には西部、小松、大塚江南の3支部主催の「支部設立20周年を祝う会」を盛大に開きました。毎年開く「クリニックまつり」は、地域の恒例行事になっています。支部運営委員が数名という危機を乗り越えて現在、清水カツ子支部長のもと安定しています。

支部の自慢は6、600世帯の43%が組合員さんです。生目台は50%、そして80%の組合員さんに「おげんきですか」を届けていることです。支部ニュースの「台地だより」を発行して組合員さんとの結びつきを広げ、グラウンドゴルフも毎月行うようになりました。課題は、生目台と大塚台の支部分割です。そのためにも班づくり、仲間ふやし、担い手ふやしに奮闘しているところです。（運営委員　天水貞照）

2016年8月27日のクリニックまつり

自分の舌に減塩を覚えさせましょう

9月25日(水)、今年度第1回保健学校を小松台ハイランド集会所で開催し、24名が参加しました。テーマは〝減塩料理とみそ汁塩分チェック〟。みぞれチキン南蛮とピーマンともやしの塩昆布和え、豆乳ゴマみそ汁、抹茶ミルク缶を実習しました。塩分は2.5g「酢や豆乳を上手に利用して日頃から自分の舌に減塩を覚えさせましょう」の話しもありました。

みそ汁の塩分チェックでは0.4gの薄味が3人、0.8gの標準が1人でした。中には冷や汁も持参されましたが、1.2gと濃い味でした。

みなさん、日頃から減塩に心がけましょう。（支部長　黒木愛子）

宮崎医療生協（宮崎民医連）奨学金制度のご紹介

宮崎生協病院では、医学生・看護学生・薬学生、介護士を目指す学生を対象とした奨学金制度を設けております。これは、宮崎での医療・介護活動を志す学生の学業・生活の支援、また、宮崎医療生協は宮崎生協病院を中心に多くの医療・介護施設を展開しており、将来にわたってその活動を支える職員の確保と育成を目的としています。

奨学生となった学生に対しては、大学や学校では学ぶ機会が得ることが難しい、地域の人々の暮らしや医療制度・社会情勢について学ぶ機会を多く設けています。また、医療生協・民医連として大切にしている平和学習も旺盛に取り組んでいます。

活動紹介①

活動紹介②

活動紹介③

活動紹介④

写真の活動紹介

①宮崎大学医学科に在籍する奨学生。月1回奨学生会議「てのひら会」を開催し、様々な学習と交流を行っています。医師やスタッフも参加し助言を行っています。

②看護奨学生が取り組んだ「平和フィールド」。18年度は八紘一宇の塔の実際について、見学と説明を受けました。

③毎年開催している「宮崎民医連・フィールド」。18年度は「親世代の労働・生活実態」をテーマに医学生・看護学生合同で聞き取り調査を行いました。

④高校生を対象とした医師体験、看護体験も実施しています。

これらの奨学金制度は、宮崎医療生協に寄せられている出資金や諸活動に参加されている組合員の皆様、宮崎医療生協の医療・介護施設をご利用いただいている方々の支えが元手となっております。ご家族やご親戚、お知り合いで宮崎での医療・介護の道を志す方のご紹介についても、ご協力いただければ幸いです。

今後も宮崎医療生協・宮崎民医連をよろしくお願いいたします。

◎お問い合わせ・連絡先

【医学生】宮崎民医連・医学生サポートセンター
担当：松本・黒木　TEL：0985-85-9717

【看護学生】宮崎生協病院・師長室
担当：井上（看護師長）　TEL：0985-24-6877

【薬学生・介護関連】宮崎医療生協・本部総務部
担当：白石、大田原（薬学生担当）　TEL：0985-23-7168

2019年10月度　理事会の報告（10月12日開催）

＜審議・決定事項＞

①9月度の組合員増やしは122名(目標95名)、出資金増資は77万円(目標399万円)、班づくり1班、班会開催89回でした。10.1秋の医療生協月間統一行動日には223名(目標200名)の仲間が増えました。
各支部から月間の取り組みについて報告がありました。「組合員のつどい」について開催時間、職員の参加などについての意見も出ました。
コープみやざきでの健康チェックの時間帯と場所、手配り配布者を増やす取り組みなどについて経験を交流しました。

②平和と社会保障を守る取り組みでは、「オスプレイ深夜離着率問題」「防衛大臣と沖縄県知事、辺野古移設問題平行線」「関電社長金品寿陵億円」「東海村臨界事故から20年」「病院再編400の病院名公表」「介護保険65歳以上高所得者世帯上限引き上げ」について報告がありました。また、宮崎県内の病院再編・統合促進に向け「診療実績が乏しい」と判断して公表した病院について、消費税10%の影響についての報告もありました。

③8月の法人の経常利益は1,161万円(予算差367万円)、累計の経常利益2,878万円(予算差2,065万円)の到達でした。

④長期借入金取引先銀行の選定について、4銀行からの選定を行い選定しました。

⑤第30回総代会第4号議案2019年度役員報酬限度額の範囲内で非常勤理事手当の改定について提案し、継続審議となりました。

⑥このはな生協クリニックの診療時間変更の提案がありました。

＜報告・承認事項＞

①9月度各事業所の活動について
②9月度医療安全管理委員会について
③9月度宮崎生協病院利用委員会について
④9月度県連介護事業所責任者会議について
⑤9月度組織経営委員会について
⑥9月度経営協議会について
⑦第30期第5,6回常勤理事会について
⑧宮崎民医連第11期第4回理事会について
⑨県社保協第6回幹事会について
⑩人事について
⑪不明組合員の調査状況は296名に電話掛けを行い、74名の住所が判明しました。
⑫監査報告について、和知川原生協クリニックの現金監査の報告を受けました。
⑬宮崎医療生協の自己資本推移報告を受けました。

以上の報告を承認しました。

「宮崎生協病院医師紹介」今月は高田慎吾医師です

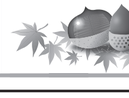
みなさんこんにちは

私は2019年11月1日からこのはな生協クリニックに勤務します。私は1992年に宮崎医科大学を卒業し、鹿児島・宮崎民医連に入職しました。当時は1年～3年で異動がありました。鹿児島(1.5年間)→宮崎(1.5年間)→鹿児島(1年間)→奄美(2年間)→国分(3年間)→大阪(1年間)→宮崎生協病院(17年間)です。診療所勤務は16年ほど前に半年間おおつか生協クリニックに勤務して以来のことです。それ以前には奄美大島本島南端の瀬戸内町古仁屋の南大島診療所に2年間勤務したことがあります。いずれにしても久しぶりの診療所勤務です。外来診療と併行して、診療所スタッフや訪問看護ステーション、ケアマネさんたちと協力して在宅医療に取り組みたいと思います。しばらくの間、火、木曜日の生協病院での外来診療は引き続き行います。二足のわらじ状態ですがよろしくお願い申し上げます。

みんなの声

◎10月から消費税が10%となりキャッシュレス決済、軽減税率が導入。9月11日にはお友だち内閣改造が。私たちは力の限り正攻法で監視せねばなりません。
（宮崎市Fさん女性）

◎班会に参加して、塩分や糖、健康について気をつけるようになりました。
（三股町Sさん女性）



11月11日は、「いい介護の日」

介護・認知症なんでも無料電話相談

お気軽にお電話下さい！

高齢化がますなか、お金の心配など安心して介護サービスを受けたい、すべての高齢者・家族の願いです。
しかし現状は介護職場の人手不足や、「負担が重くサービスを継続できない」「特養に入れない」など悩みは深刻です。
その悩みに答える「介護・認知症なんでも電話相談」を行います。介護の専門家、「認知症の人と家族の会」の相談員がお答えします。

とき 2019年11月11日(月) 10時～18時

でんわ 0120-110-458

宮崎県社保協　宮崎県社会保障推進協議会

公益社団法人 認知症の人と家族の会 宮崎県支部

虹の声　宮崎生協病院　虹の意見箱　10月度宮崎生協病院利用委員会

(声) 受付の側の台がとうとう小さいの2つになってしまいましたが不便です。

(答) 以前は、問診用の机を設置しておりましたが、通路上の狭さなどから撤去した経緯があります。ご意見を頂きましたので荷物置きとして適当な物を再設置させて頂きたく、検討させて頂きます。

今、宮崎医療生協は　2019年9月末現在

■新規加入者	122名(9/1～9/30)	■総組合員数	49,931名
■出資金	5億9,646万円	■平均出資金	11,946円
■班数	304班	■おげんきですか手配り配布数	20,284部

おげんきですか文芸欄

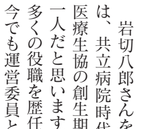
〈短歌〉

体ごと仕草大きくソーランを
踊る園児の収穫まつり

コミカルな先生たちのパプリカに
園児大受け笑い転ぐる

河野　正さん(延岡市)

おげんき仲間～配布協力員紹介～



岩切八郎さんを紹介します。八郎さんは、共立病院時代からの組合員であり、医療生協の創生期の苦労を知る数少ない一人だと思います。今まで組合員として多くの役職を歴任（理事・監事など）され、今でも運営委員として、地元（緑松）の組合員・機関誌配布員として、地域をまとめるリーダーとして活躍、医療生協の発展のために尽力されています。

特に映画に関しては、専門知識を活かし、地元の人達のために長年にわたり映写会を実施、また、大淀支部の活動の1つである映画鑑賞会は、八郎さんなしでは語ることはできません。更には、医療生協活動の映画関係の催しは八郎さんに「おんぶにだっこ」という面も大きいと思います。また、赤江に点在する戦争遺構の語り部として平和教育にも尽力されています。頼りになる大先輩です。

《お問い合わせ》組織部　0985・31・9055

宮崎医療生協まちづくり委員会から学習会のお知らせ

土呂久公害ドキュメント映画

“咽び唄のさと『土呂久』”

●日時：12月10日(火) 13:00～14:30
●場所：宮崎医療生協本部2階大研修室

《内　容》

1960年代の後半、水俣病（熊本・新潟）、イタイイタイ病、四日市公害の四大公害裁判のニュースが土呂久にも届いた。鉱山が閉鎖されて9年後の1971年、地元の小学校教師が調査に着手。「最近53年間の死者の平均寿命39歳、今なお多数の患者が苦しんでいる」と報告。奥山に埋もれていた公害が初めて世間に知られた。

＜参加費無料、どなたでも鑑賞できます（申し込みは不要）＞